

キャラクター名  
 冨島 静(さえじま・しずか)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	リストB	カヴァー	ピアニスト
	ソラリス					
オプション			年齢	29	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	32	%
出自	義理の両親	経験	永劫の別れ	邂逅	仲間	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	3		0			3	行動値	3
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	3
精神	1		0			1	戦闘移動	15
社会	4		0			4	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵		1	射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	2		意志			調達		
運転:			芸術:ピアノ	1		知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鉄の靴	白兵	3r+1		13		
100↓	白兵	7r+1		39		
100↑	白兵	8r+1		49		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
オールドストーリー	
鋼の意志	
お気に入りの服装	
ライセンス:戦闘	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
黒い十字架	P	N		
ケイニスの街	P 庇護	N 偏愛		
創田水先 (PC3)	P 誠意	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
復讐の刃	2	6	リアクション		自身			
効果:								
ターゲットロック	3	3	セットアップ		単体			
効果:	対象へのダメージ+[lv*3]							
攻性変色	3	3	セットアップ		単体			
効果:	タゲ口の効果+[lv*5]							
攻撃誘導	2	3	セットアップ		単体			
効果:	対象の自身を含まない攻撃範囲-[lv*2]D							
扇動の香り	4	5	セットアップ		単体			
効果:	ラウンド中対象への攻撃+[lv]D							
コンセ:キュマイラ	2	2	メジャー		自身			
効果:								
獣の力	1	2	メジャー		自身			
効果:	ダメージ+[lv*2]							
快樂の香氣	1							
効果:								
麗しの容貌	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「私、本業はピアニストのほうなのですけど？」

ケイニスに住むリスト。  
 ピアノ演奏を聞きながら食事のできるレストラン「エネルギーコ」でピアノを弾く傍ら、街の自警団にも所属している。  
 また、レストラン以外でも時折コンサートを開き、街の人々を楽しませている。

大規模襲撃以前は、同じようにピアニストで働きつつ「ティンダロス」に所属していた。  
 ピアノ師はティンダロスの上司が表の顔としてオーナー兼店長を務めている店で、ティンダロスの事務所の一つとしても機能していた。  
 ティンダロスに所属していたものの、「街の人々をオーヴァードから守る」という意識は薄く、上司である彼のために戦っていた。

◆  
 彼もまたオーヴァードで、力なき人々を守るというティンダロスの使命に強く共感した、正義感の強い人物だった。  
 しかし、大規模襲撃の際に上司の彼は街の人々を守り続けジャーム化、それでも尚、戦い続けた。  
 おそらくは、アトラスになるその一歩手前、と言える状態だっただろう。  
 けれど彼は、最後の最期、死にゆくその瞬間、街の人々ではなく、「彼女」を守りたいと願い、……願ってしまい、  
 その罪は、黒き十字架へとくべられた。  
 「バカな人。もう少しで、英雄になれたのに」  
 黒い十字架にそう言葉をかけると、『僕は英雄になりたいわけじゃない』、なんて返事が、彼女には聞こえた気がした。

◆  
 現在彼女はケイニスの自警団に所属している。  
 彼の遺志をついで、というわけではない。  
 彼女は現在、彼女自身の意志で、この街を守りたいと、願っている。  
 「彼がいなくなって、ティンダロスもなくなって、その後、街を守りたいなんて願いが芽生えるのも皮肉なものだけだ。」